

福島市保健所 感染症だより



9月24日～30日は結核・呼吸器感染症予防週間

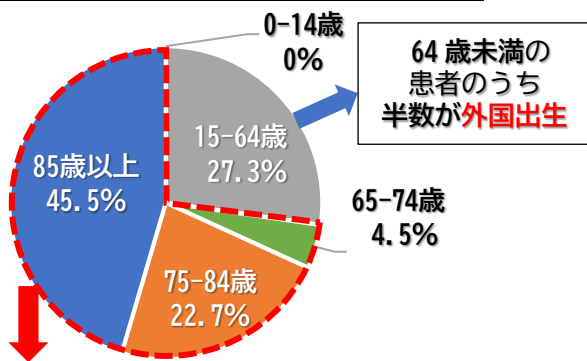
～結核はまだ身近な病気です～ ～予防しよう 身近な呼吸器感染症～

コロナ禍を経て、今年度より従来の「結核」に「呼吸器感染症」が加わりました。
呼吸器感染症とは、呼吸器（気管や肺等）に感染する病原体によって起こる疾患のことです。
主に、結核やレジオネラ症、肺炎等が含まれます。

●結核

結核は現代でも全国で毎年1万人以上の新しい患者が発生し、1,600人以上が命を落としています。
福島市では毎年20人程の新しい患者が発生しています。

R5年福島市新登録患者 年代別割合



【近年の傾向】

〈結核〉
福島市 HP



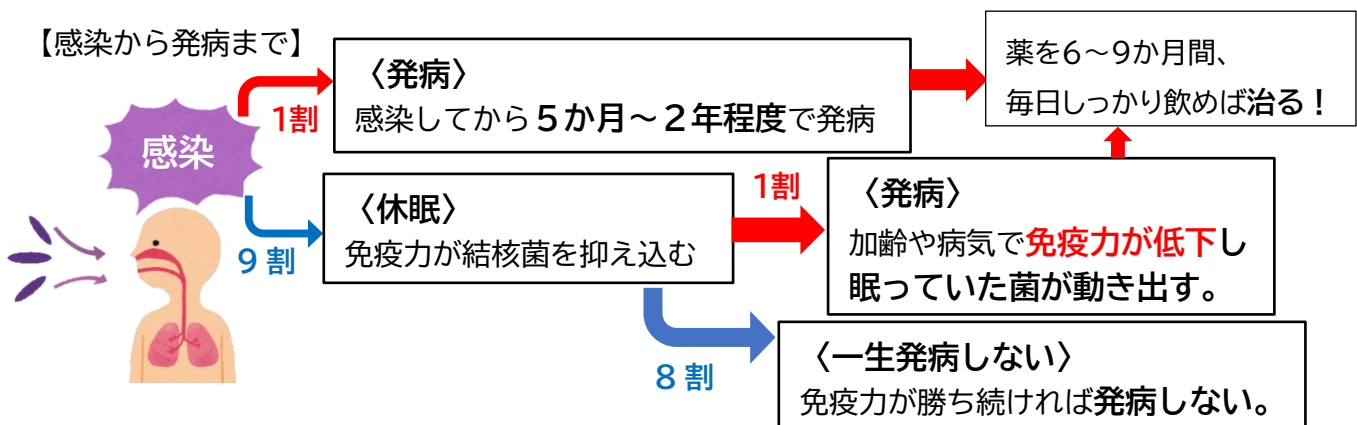
- ▶ **高齢者に多い**
幼少期に感染した方が加齢や病気等により**免疫力が低下して発病**。
- ▶ **若年層では、外国生まれの患者が増加**
アジア諸国では、結核が今もまん延している。

【主な症状】咳、痰、微熱、寝汗、息切れ、食欲低下、倦怠感、体重減少等

※**高齢者は症状がはっきり出ないこともある**ので、「なんとなく元気がない」という場合にも要注意！

【感染経路】咳やくしゃみ等により空気中に飛び散った菌を吸い込むことで感染する「**空気感染**」

【感染から発病まで】



※結核を他の人に感染させる可能性がある方は、**発病**した方のみ。

感染しても免疫力で結核菌を抑えられていれば、人にうつすことはありません！

予防・早期発見のポイント

☑年に**1回**は胸部レントゲン検査を受けましょう！

65歳以上の方は、市民検診の「肺がん検診」が「結核健診」を兼ねています。

☑症状が続く場合には、**早めに医療機関を受診**しましょう！

☑生後5～8カ月のお子さんは **BCG 接種**をし、発病や重症化を防ぎましょう！

☑バランスの良い食事や十分な睡眠、適度な運動等、規則正しい生活をし、**免疫力を高め**ましょう！

●レジオネラ症

水中や土壌など自然界に広く存在するレジオネラ属菌が原因で起こります。
幼児や高齢者、病気等により体の免疫力が低下している人が発病のおそれが高いといわれています。

菌は水温 **20℃～50℃** で増殖し、**人から人へは感染しません。**



<レジオネラ症>
厚生労働省 HP

| 病型 | レジオネラ肺炎 | ポンティアック熱 |
|------|---|------------------|
| 症状 | 発熱、呼吸困難、吐き気、意識障害等 | 発熱、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛等 |
| 潜伏期間 | 2～10日 | 1～2日 |
| 感染経路 | 汚染された細かい霧やしびき・粉じんを吸い込むことで発症。多くは感染経路が不明。 | |

予防のポイント

☑浴槽やシャワーヘッド：定期的に清掃し、浴槽の水は毎日交換。
浴槽に入る前は体の汚れを洗い流す。



☑加湿器等：水は継ぎ足しせず、毎日取り替えて容器をこまめに洗浄。ボトル水は塩素消毒されていないので菌が繁殖しやすい。消毒されている**水道水を使用**する。
長期間使用しない時は、**水を抜き、容器を乾燥**させる。

※非加熱型の超音波式加湿器はレジオネラ菌が繁殖しやすい。レジオネラ菌は**60℃では5分間で殺菌**されるため、水を加熱して蒸気を発生させるタイプの加湿器は感染源となる可能性は低い。

☑粉じんが発生する作業（家庭菜園等）：吸い込まないようにマスクを着用

●マイコプラズマ肺炎

【特徴】「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することで発症
小児や若い人に多く、約80%は14歳以下
秋冬に増加する傾向がある

【症状】発熱、倦怠感、頭痛、咳等

【感染経路】飛沫感染や接触感染

【潜伏期間】2～3週間



<マイコプラズマ肺炎>
厚生労働省

予防のポイント

- ☑流水と石けんによるこまめな手洗い
- ☑咳症状がある場合には、マスクを着用する等**咳エチケット**を心がける
- ☑家族間での**タオルの共有はしない**

